



新型コロナワクチン情報

問い合わせ

草加市新型コロナワクチンコールセンター
☎0570-666-578

☎☎を含む午前8時30分～午後5時15分

4月以降のワクチン接種について

- 臨時接種期間は、4月1日以降も延長となる見込みです。
- 本市の接種体制は、国の方針が決まり次第、広報そうかや市ホームページでお知らせします。

新型コロナ後遺症かな?と思ったら

後遺症外来を行う医療機関に相談して下さい。

代表的な症状は次の通りです。

- 倦怠感 ●咳・痰 ●嗅覚・味覚障害 ●脱毛
- 頭痛 ●集中力低下 ●抑うつ



県のホームページ(右記QRコード)で新型コロナ後遺症の診療を行う医療機関を公表しています。
※受診前に「受診チェックシート(県ホームページ掲載)」の確認を。

☎新型コロナウイルス対策課☎922-1839☎927-0501

マスクの着用について

3月12日まで
屋外:原則不要
屋内:着用を推奨



3月13日から
マスク着用は
個人の判断が基準※

※ただし、次のようにマスク着用が推奨される場面や効果的な場面があります。

- 医療機関受診時や医療機関・高齢者施設などを訪問する時
- 通勤ラッシュ時など混雑した交通機関を利用する時
- 重症化リスクの高い人が混雑した場所に行く時

詳細



皆さんへのお願い

- 症状がある人、新型コロナウイルス感染症の検査陽性の人、同居家族に陽性者がいる人は外出を控えましょう。なお、通院等やむを得ず外出する場合は、人混みは避け、マスクの着用をお願いします。
- 引き続き、手洗い・「密」の回避・換気等の基本的な感染対策をお願いします。

草加市民
あるある!?

**ふれあい文芸草加
第38号 刊行**
須賀しのぶ氏特別寄稿
「実はけっこう自慢です」
☎文化観光課☎922-2968☎922-3406



小・中学生を含む市内の皆さんから投稿された小説や詩・短歌・俳句などの文芸作品約1200点を掲載したふれあい文芸草加第38号を3月10日(金)に刊行します。昨年に続き、巻頭には市内出身・在住の小説家須賀しのぶ氏による特別寄稿を掲載しています。

市内の道、公園やお店などを軽やかな文体で、楽しく紹介するエッセイです。ジュニア向けライトノベルから史実に基づく長編小説まで、幅広く手掛ける須賀先生の特別寄稿文は、草加市民にこそ読んでほしい作品です。

<ふれあい文芸草加第38号>A5判。1冊500円。

販売場所：市役所情報コーナー、公民館、中央図書館、高砂ブックス等



須賀しのぶ

市内在住の小説家。新田小学校、新田中学校出身。第二次世界大戦下のポーランドが舞台の「また、桜の国で」(祥伝社)で第4回高校生直木賞受賞。ライトノベル「流血女神伝」(集英社コバルト文庫・角川文庫)はコミカライズされ好評連載中。この3月に母校新田中に応援メッセージを寄稿。

撮影:鈴木慶子

草加市音楽都市宣言30周年 キャッチフレーズが決定しました



「人と音楽がふれあうまち」

協賛団体募集

県内初の音楽都市宣言制定30周年を記念して市内で活動している音楽団体から協賛団体を募集します。

協賛期間は4月1日～令和6年3月31日。音楽イベントに「草加市音楽都市宣言30周年協賛事業」の名称と記念ロゴマークが使えるようになり、音楽イベントの情報は市ホームページやSNS等で発信されます。☎3月6日(月)から文化観光課へ。☎922-2968 ☎922-3406 ☒bunkakanko@city.soka.saitama.jp

音楽都市宣言30周年記念

音楽の森ミニコンサート「森フェス」出演者募集

5月28日(日)草加市文化会館で音楽の森ミニコンサート初のフェスティバルを開催。

CDなどの録音音源を使用しない生演奏で出演できる個人・団体を募集します。定員10組。応募多数の場合は選考。詳細は草加市文化会館ホームページで募集要項を確認して下さい。

☎3月12日(日)午後5時までに申込フォーム(QRコード)または応募用紙を同館へ。☎931-9325☎936-4690



できごとまちかど 2・3月

2月14日 県知事ふれあい訪問



大野元裕県知事が「ふれあい訪問」で来草し、皮革に関する11の事業者で構成する「レザータウン草加プロジェクトチーム」の工房を訪問。山川市長ら関係者と共に視察しました。職人の熟練の技や革の魅力・可能性を追求した商品を手に取り、知事は「県が持つもの、市が持つものがうまく重ね合わさるようなお手伝いをしたい」と感想を述べました。

2月19日・3月4日・5日 草加市民音楽祭

草加市文化会館で市民音楽祭が開催されました。初日の19日は、みのベジュニアスクールによる合唱、草加東高等学校吹奏楽部、草加中学校吹奏楽部による演奏が披露されました。素敵な演奏と観客の手拍子で、会場が一体となって音楽を楽しんでいました。

